

フロントヤード改革調査業務委託  
公募型プロポーザル審査結果報告書

令和6年4月22日

フロントヤード改革調査業務委託プロポーザル審査委員会

## 1 募集及び選定

### (1) 募集及び選定の方法

本市が発注するフロントヤード改革調査業務委託について、公募型プロポーザル方式により事業者を選定するため、学識経験者2名、市職員5名（副市長及び業務に関連する担当部長）の計7名で構成するフロントヤード改革調査業務委託プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）を設置しました。

募集にあたっては、フロントヤード改革調査業務公募型プロポーザル実施要領（以下「実施要領」という。）を定め、本事業への参加を希望する提案事業者を公募しました。

提案事業者から提出された企画提案書等については、実施要領及び要求水準書に基づき、事務局が資格要件の確認を行い、審査委員会が企画提案書等の内容を審査しました。提案書の内容の審査にあたっては、提案事業者による提案プレゼンテーションを実施しました。

### (2) 募集の経過

- |               |              |
|---------------|--------------|
| ① プロポーザル実施公告  | 令和6年3月18日（月） |
| ② 参加表明書等の提出期限 | 令和6年4月 8日（月） |
| ③ 質問書の提出期限    | 令和6年4月17日（水） |
| ④ 辞退届の提出期限    | 令和6年4月18日（木） |
| ⑤ 企画提案書の提出期限  | 令和6年4月18日（木） |

### (3) 審査委員会

#### ① 審査委員

審査委員会の構成は、次のとおりです。

職名	所属	役職	氏名
委員長	酒田市	副市長	安川 智之
委員長代理	酒田市	企画部長	中村 慶輔
委員	酒田市	総務部長	前田 茂男
	酒田市	市民部長	村上 祐美
	酒田市	健康福祉部長	高橋 紀幸
	社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会	会長	桐澤 聡
			本間 義紀

※本間義紀委員は令和6年4月8日追加

#### ② 審査委員会の開催経過

審査委員会は、次のとおり開催しました。

	開催日	議 事
第1回	令和6年 3月13日(水)	(1) 酒田市公募型プロポーザル実施要領について ①実施要領の内容について ②要求水準書の内容について ③評価方法の考え方について ④評価基準の点数配分について
第2回	令和6年 4月22日(木)	(1) 企画提案者による提案プレゼンテーション及び 質疑応答 (2) 提案内容の審査及び評価並びに最優秀提案者の 決定 (3) 講評 (4) その他

## 2 選定の結果

### (1) 応募状況

令和6年3月18日に実施要領等を公表し、令和6年4月8日の参加表明書等の提出期限までに1者から参加表明がありました。

### (2) 審査項目

#### ① 資格要件の確認

提案事業者が資格要件を満たしていることを事務局（酒田市企画部企画調整課）が確認しました。

#### ② 企画提案書等の内容に関する審査

提案書の内容の審査にあたっては、提案事業者による提案プレゼンテーション及び質疑応答を実施し、その結果を踏まえ、審査委員会にて企画提案書等の内容の審査及び評価を行いました。

### (3) 最優秀提案事業者及び次点者の選定結果

審査委員会は、提出された企画提案書等の内容を審査した結果、受託能力があるものと判断し、次の事業者を最優秀提案事業者に認定しました。

最優秀提案事業者 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所

### (4) 企画提案に対する講評

- ・ 酒田市が総務省に提案した内容の意図を組んで仮説を立てて企画提案いただいた点は評価したい。酒田市が総務省に提案した内容を実現させるため、提案者からはこれまでの知見やデンマークの知見を十分に活用してほしい。

- ・ 今回の委託事業の内容が、酒田市が行う今後の業務改善の中で重要となると考えられるので、提案内容が実現できるよう、しっかりと業務を遂行してほしい。その結果、酒田市のモデルが「酒田モデル」と呼ばれるような成果になることを期待したい。
- ・ 今回委託する「出生」と「おくやみ」の業務が、マニュアル化の見本となり、それを横展開できるようになることを望む。
- ・ 今後市の当局とよく打ち合わせたうえで定量的なKPIを定めて進めてほしい。特に、本事業では横展開が重要である。横展開のためには、業務当たりの適正人員を踏まえて検討が必要となるため、KPI把握の中で、業務当たりの適正人員を把握するよう努めてほしい。
- ・ 短期間での作業となることから無理なく円滑に事業を進められるようスケジュール管理や職員の負担への配慮をお願いしたい。
- ・ 窓口の実証を行う上でも市民の負担が少なくなるよう配慮をお願いしたい。
- ・ 職員の負担については、各手続きの業務がアウトソース可能かなども検討してほしい。

#### (5) 総 評

この度の事業者募集は、入札方式のように単に提案価格で事業者を選定するのではなく、豊富な経験と実績を持つ提案事業者から事業の実施手法について提案を募るため、公募型プロポーザル方式としました。

提案事業者からの提案には、様々な工夫やアイデア・ノウハウが盛り込まれており、非常に魅力的なものでありました。

提案事業者におかれましては、限られた時間の中、多大な労力と熱意をかけて魅力的な企画提案にご尽力いただいたこと、また、本審査委員会の円滑な進行にご協力いただいたことに対しまして、審査委員一同より敬意を表するとともに、深く御礼申し上げます。

ありがとうございました。

令和6年4月22日

市民マイページ開発業務委託プロポーザル審査委員会委員長 安川 智之